

2022  
年度

LIVE

# 実務者研修 教員講習会

厚労省指定様式 実務者研修教員講習会修了証発行

第3回:2023年 1月23日(月)～24日(火)  
第4回:2023年 3月6日(月)～7日(火)

介護福祉士実務者養成施設等の教員として必要な技能(医療的ケアを除く)を修得することができます。

**募集期間** 第3回 2022年7月20日(水)～2022年12月5日(月)  
第4回 2022年7月20日(水)～2023年1月31日(火)

**Eラーニング** 第3回 資料到着後～2023年1月22日(日)  
第4回 資料到着後～2023年3月5日(日)

**オンライン** 第3回 2023年1月23日(月)～2023年1月24日(火)  
第4回 2023年3月6日(月)～2023年3月7日(火)

**受講料** 会員:30,000円 非会員:60,000円  
別途資料代(11,000円)がかかります

ハイスペック施設へ！  
自己のステップアップに！



お申込みはWEBで

<https://suishinkyō.net>

推進協



## 《講義及び演習の内容》

本会が指定する講師によるEラーニングによる講義及びオンライン方式による講義・演習とします。Eラーニングの終了時には確認テストがあります。

科目名	講義形式	所要時間	目標及び内容
介護教育方法	講義 (Eラーニング)	29時間	教育方法の理論を基礎として、介護福祉教育における具体的な教授・学習内容について理解する。
	講義・演習 (オンライン)	2時間	同上。加えて、ユニット型施設の特徴を踏まえた教授内容を理解する。
介護過程の展開方法	講義 (Eラーニング)	10時間	介護実践のためのアセスメント、計画立案、実施、評価について、演習における具体的展開方法を学ぶ。
	講義・演習 (オンライン)	5.5時間	同上。加えて、ユニット型施設の特徴を踏まえた教授内容を理解する。
実務者研修の目的、評価方法	講義 (Eラーニング)	4時間	実務者研修の目的と、研修の構成・評価の在り方を理解し、実務者研修の教育方法を学ぶ。
	講義・演習 (オンライン)	1.5時間	同上。加えて、ユニット型施設の特徴を踏まえた教授内容を理解する。
合計		52時間	

※厚労省が定める講習時間数は50時間

## 《講義・演習スケジュール》

	科目	時間	講義形式	所要時間	講師
Eラーニング	介護教育方法	1日目の前までに	講義 (Eラーニング)	29時間	
	介護過程の展開方法	1日目の前までに	講義 (Eラーニング)	10時間	
	実務者研修の目的、評価方法	1日目の前までに	講義 (Eラーニング)	4時間	
1日目	オリエンテーション	13:00-13:15		15分	事務局
	介護教育方法	13:15-15:15	講義・演習 (オンライン)	120分	研修講師
	休憩	15:15~15:25		10分	
	介護過程の展開方法 (事例説明)	15:25-17:25	講義・演習 (オンライン)	120分	研修講師
	諸連絡	17:25-17:30		5分	事務局
2日目	諸連絡	10:00-10:05		5分	事務局
	介護過程の展開方法	10:05-14:45 (途中70分休憩)	講義・演習 (オンライン)	210分	研修講師
	休憩	14:45-14:55		10分	
	実務者研修の目的、評価方法	14:55-16:25	講義・演習 (オンライン)	90分	研修講師
	諸連絡	16:25-16:30		5分	事務局

演習受講前にEラーニングを終了しておく必要があります。

(注) 参加資格はありません。ただし、実際に実務者研修教員として活動するには、介護福祉士資格取得後、5年以上の実務経験が必要（教歴で本要件を充足する場合もある）です。

## 《オンライン受講にあたって》

オンライン受講のために受講者一人あたり以下の機器類等を準備ください。

- ・ウェブカメラ付きのパソコンまたはタブレットの機器類 ※1台の機器で複数名の受講は不可。
- ・インターネット接続環境（有線を推奨）
- ・会議室や休憩室など、研修に集中でき、また声を出しても周囲への迷惑にならない環境
- ・ヘッドセットまたはイヤホン（あれば望ましい）